

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1964
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.57, No.2 (1964. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19640201--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田學會雜誌

1964年 2月号

論 説

- 企業の信用に対する需要.....村 井 俊 雄 1
 日本の法人税負担の評価 (一).....古 田 精 司 14
 地金論者としてのマルサス.....中 西 充 子 35
 ——リカードオとの比較において——

研究ノート

- 経済統合(とくにEEC)における
 計画性と分業原理.....深 海 博 明 60

書 評

- 小竹豊治訳
 『株式市場の変動要因——合衆国上院
 銀行・通貨委員会専門調査官報告書』.....飯 田 裕 康 75

新刊紹介

57 卷 **2** 号

昭和39年2月1日発行
 昭和39年2月10日
 昭和39年2月13日
 昭和39年2月16日
 昭和39年2月19日
 昭和39年2月22日
 昭和39年2月25日
 昭和39年2月28日
 昭和39年3月1日
 昭和39年3月4日
 昭和39年3月7日
 昭和39年3月10日
 昭和39年3月13日
 昭和39年3月16日
 昭和39年3月19日
 昭和39年3月22日
 昭和39年3月25日
 昭和39年3月28日
 昭和39年3月31日

昭和39年2月1日発行
 昭和39年2月10日
 昭和39年2月13日
 昭和39年2月16日
 昭和39年2月19日
 昭和39年2月22日
 昭和39年2月25日
 昭和39年2月28日
 昭和39年3月1日
 昭和39年3月4日
 昭和39年3月7日
 昭和39年3月10日
 昭和39年3月13日
 昭和39年3月16日
 昭和39年3月19日
 昭和39年3月22日
 昭和39年3月25日
 昭和39年3月28日
 昭和39年3月31日

三田学会雑誌

昭和三十九年一月号

定価 金二二〇円 (送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 57, No. 1

January, 1964

CONTENTS

Articles

- Determination of Relative Shares
 in a Two-Sector Model.....S. Tomita 1
 Balanced Growth in Two-Sector Economy.....K. Kawamata 21
 ——A Survey and a Generalization——
 Hilferding's View on Theory of Corporation.....H. Iida 43
 Notes and Memoranda
 Documents on the History of the First International from 1864
 to 1866 ——The General Council of the First International,
 1864—1866, the London Conference 1865, Minutes——.....K. Iida 72
 Book Reviews
 The Commercial Crisis of 1847,
 by C. N. Ward-PerkinsM. Terao 85

Published for

KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI

(The Keio Economic Society)

Editorial communications to be sent to
 the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,

Keio University,

Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Price 120 yen

新刊紹介

H・ルフェーブル著『レーニン——生涯と思想——』……飯田鼎 80 大崎平八郎訳	
高須裕三著『福祉国家の動向』……………加藤寛 81	
山岡亮一訳編『資本主義への移行論争』……………中村勝己 81 福富正美	
副島種典編著『ソヴェト経済の歴史と理論』……………平野絢子 83	

企業の信用に対する需要

村井俊雄

一、はしがき

最近、モネタリイ・エコノミックス（貨幣的経済理論）が経済学者達の間、再び興味をもって議論されてきている。^(注1) その意図するところは色々と異っている。価値と貨幣という点から、貨幣政策的目的から、金融構造上の変移から、等々その動機がある。しかし、経済学の遺産として確立するためには、演繹的な理論の形で示すことが必要となってくる。理論の形で示すとすると、一つの枠組みがなければならぬ。そこに貨幣の演ずる振り付けがきめられる。貨幣の振り付け方が色々な貨幣理論を現出させた。

この小論も、その一つの振り付け方を示すものである。力点を貨幣は支払い手段という所におく。そして、現金の流出入の非斉時性に着目して、企業の銀行信用 (bank credit) に対する需要を定式化してみよう。

(注1) ハリイ・G・ジョンソンのサーベイ論文「貨幣理論と貨幣政策」(Monetary Theory and Policy, American Economic Review, June, 1962) 久武雅夫編「現代の経済学1」所収、高山晟訳、を示せば十分であろう。